

<第92回調査>

2017年1月30日

### 【本調査の目的】

2009年6月の第1回調査を皮切りに、(株)外為どっとコムは口座開設者のお客様を対象として、「投資動向等に関するアンケート調査」を毎月定期的を実施していましたが、2010年8月の第15回調査より、その名称を「外為短期投資動向調査(略称:外為短観)」に改めました。本レポートは、同調査の結果に基づき、(株)外為どっとコム総合研究所がその一部を取りまとめるという形で対外的に公表するものです。

近年の外国為替市場において、本邦の外国為替保証金取引への関心が強まっているのは周知の通りですが、その実像を把握するのに必要な統計データ等の整備は、既存のマクロ経済データや金融関連データなどに比べて遅れているのが実情です。今後こうした調査を継続的に実施することで、時系列で比較した個人投資家層の相場感の変化や投資家属性別の投資動向の特徴などを精査し、当社の調査研究活動の深化につなげるとともに、その一部を社会に還元することが、本調査の目的です。

また、本調査におきましては、国内外の市場参加者が注目する各種イベント前後の時期に、不定期のアンケート調査の結果も公表いたします。定点観測の調査結果と合わせて、ご参考にして頂ければ幸いです。

### 【調査実施期間】

2017年1月17日(火)13:00~2017年1月24日(火)13:00

※毎月中旬から下旬にかけての1週間を調査期間としています。

### 【調査対象】

(株)外為どっとコムの『外貨ネクストネオ』に口座を開設のお客様層

### 【調査方法】

(株)外為どっとコムの口座開設者にメールでアンケート回答URLを送付。

今回の有効回答数は870件。

※必要項目を全て入力して回答して頂いたお客様を「有効回答数」としました。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

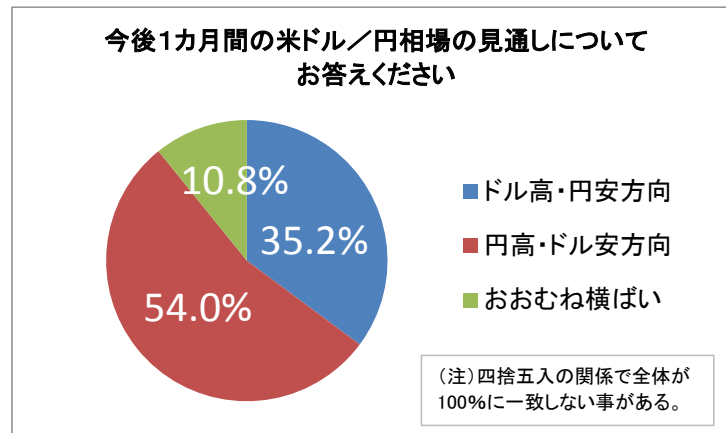
Copyright©2017 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

## 【第92回調査結果略報：個人投資家の見通しが急速に弱気化】

### 問1：今後1カ月間の米ドル/円相場の見通しについてお答えください

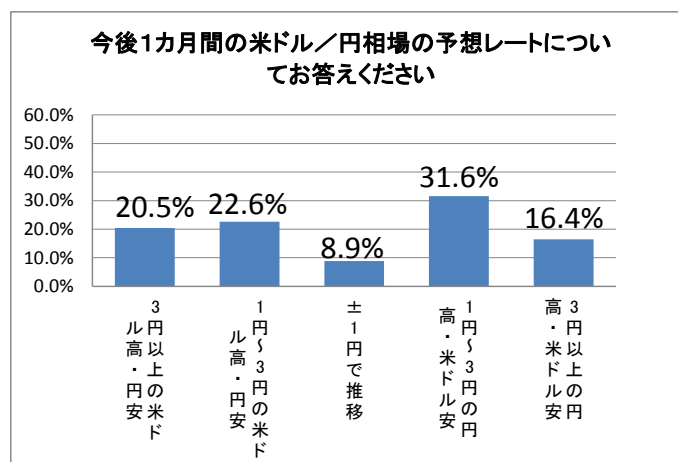
「今後1カ月間の米ドル/円相場の見通し」については、「ドル高・円安方向」と答えた割合が35.2%であったのに対し「円高・ドル安方向」と答えた割合は54.0%であった。この結果「米ドル/円予想DI」は▼18.8%ポイントとなり、前回の△44.2%から一気にマイナス圏に転落した。個人投資家の見通しが急速に弱気化した事を示している。調査期間中の米ドル/円相場は、トランプ米新大統領の経済政策への思惑などにより、112円台半ばから115円台半ばで神経質に乱高下した。トランプ大統領は就任演説で「米国第一主義」を掲げており、保護貿易主義色の強い米新政権に対する警戒心が、米ドル/円予想DIに表れたと見られる。

※過去の米ドル円予想DIの推移はP7-8に掲載。



### 問2：今後1カ月間の米ドル/円相場の予想レートについてお答えください

「今後1カ月間の米ドル/円相場の予想レート」については、「1円～3円の円高・米ドル安」が31.6%と最も多く、「1円～3円の米ドル高・円安(22.6%)」、「3円以上の米ドル高・円安(20.5%)」、「3円以上の米ドル高・円安(16.4%)」、「±1円で推移(8.9%)」と続いた。ヒストグラムの形状はやや円高・米ドル安側に傾いており、問1の結果と整合的だ。また、「±1円で推移」が最も少ない点も問1の回答で「おおむね横ばい」の割合が低い事と合致する。上下どちらに動くにせよ、それなりに値幅を伴ったものになるとの見方が多いという事になる。

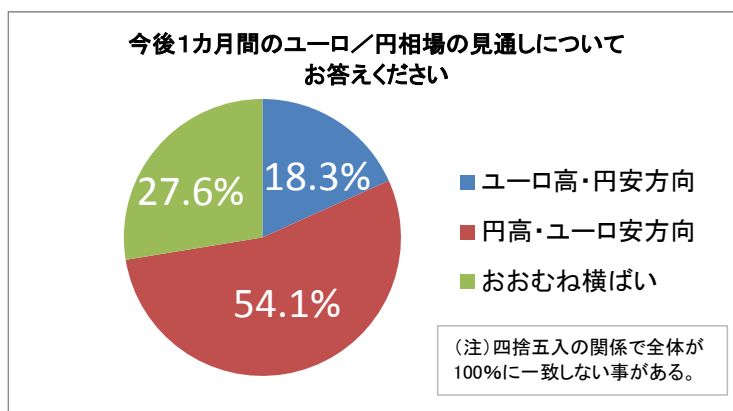


本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2017 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

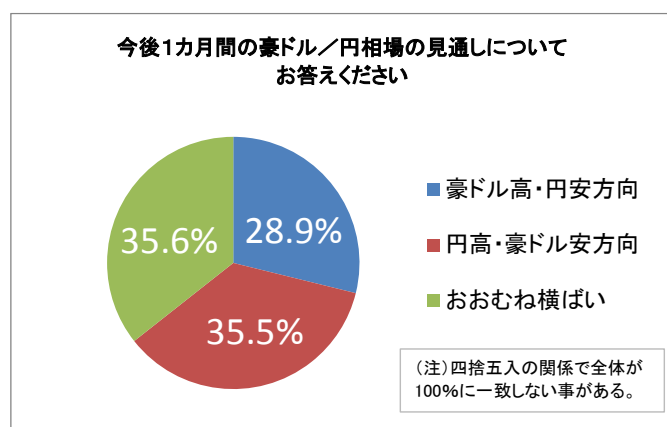
### 問3: 今後1カ月間のユーロ/円相場の見通しについてお答えください

「今後1カ月間のユーロ/円相場の見通し」については、「ユーロ高・円安方向」と答えた割合が18.3%であったのに対し、「円高・ユーロ安方向」と答えた割合が54.1%であった。この結果、「ユーロ/円予想DI」は▼35.8%ポイントとなり、マイナス圏に転落。個人投資家の相場観は3カ月ぶりにユーロ弱気・円強気に逆戻りした。調査期間中のユーロ/円相場は、ユーロ固有の手掛かり材料は少なかったが、120円台半ばから122円台後半へ上昇したのち121円台前半に反落するという上値の重さを感じられる展開であった。こうした動きも見通しの弱気化に影響した模様だ。過去のユーロ円予想DIの推移はP7-8に掲載。



### 問4: 今後1カ月間の豪ドル/円相場の見通しについてお答えください

「今後1カ月間の豪ドル/円相場の見通し」については、「豪ドル高・円安方向」と答えた割合が28.9%であったのに対し、「円高・豪ドル安方向」と答えた割合は35.5%であった。この結果「豪ドル/円予想DI」は▼6.6%ポイントとなり、4カ月ぶりに豪ドル強気予想が崩れた格好だ。調査期間中の豪ドル/円相場は、87.00円台まで上昇したが前月に付けた約1年ぶりの高値(87.532円)を更新するには至らず85円台前半に反落した。トランプ米新政権の発足前後に、政策不透明感などから日本株が軟調気味に推移しており、こうした環境下では豪ドルに強気の予想は立てにくいのだろう。※過去の豪ドル円予想DIの推移はP7-8に掲載。



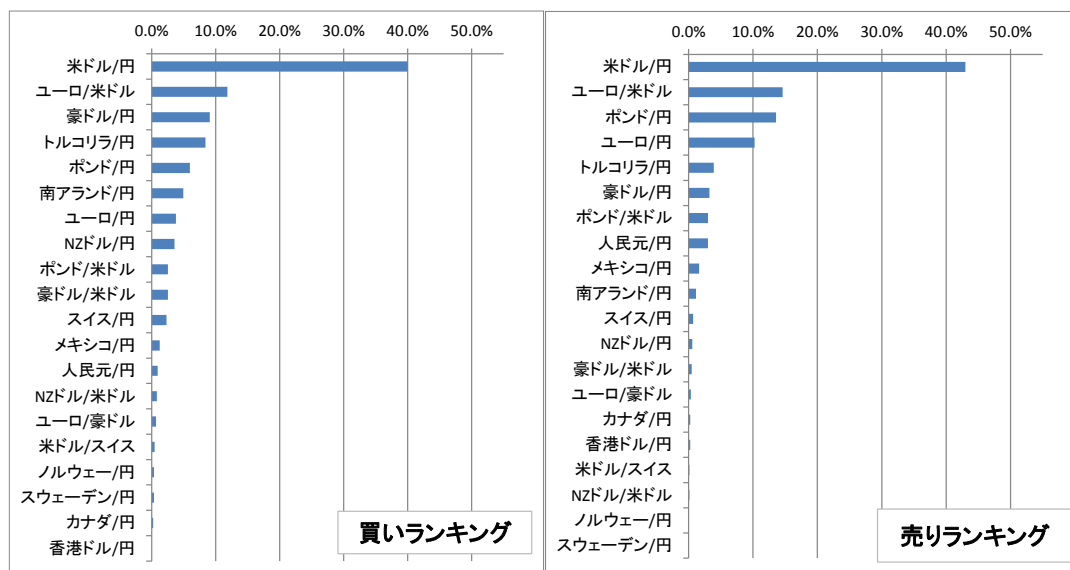
本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2017 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

## 問5: 今後、注目の通貨ペアについてお答えください

「今後注目している通貨ペア」について尋ねたところ、「買い」で注目の通貨ペアは、米ドル/円が40.0%の回答割合を集めて1位であった。以下、2位にユーロ/ドル(11.8%)、3位に豪ドル/円(9.1%)、4位トルコリラ/円(8.4%)、5位ポンド/円(6.0%)と続いた。一方、「売り」で注目の通貨ペアは、1位米ドル/円(43.0%)、2位にユーロ/ドル(14.6%)、3位にポンド/円(13.6%)、4位ユーロ/円(10.2%)、5位トルコリラ/円(3.9%)という結果であった。

「買い」で注目のランキングは米ドル/円が52カ月連続で首位の座をキープしたが、回答割合は前月の53.2%から10ポイント以上低下した。また、米ドル/円は「売り」で注目のランキングでも3カ月連続で1位となったが、その回答割合は「買い」で注目の割合を上回った。個人投資家の取引対象としての興味は、依然として米ドル/円に集中したままではあるが、足元で下落見通しが増えている事が確認できる。その他、ユーロ/ドルは「買い」で注目のランキングを前月の3位からひとつ上げており、回答割合も前月の7.5%から上昇した。一方、「売り」で注目のランキングでは2位をキープしたものの、回答割合は前月の26.5%から大きく低下した。市場の関心がトランプ米新政権に集まっている現状では、ユーロを買いたい向きが増えたというより、米ドルを売りたい向きが増えたと考えるべきだろう。

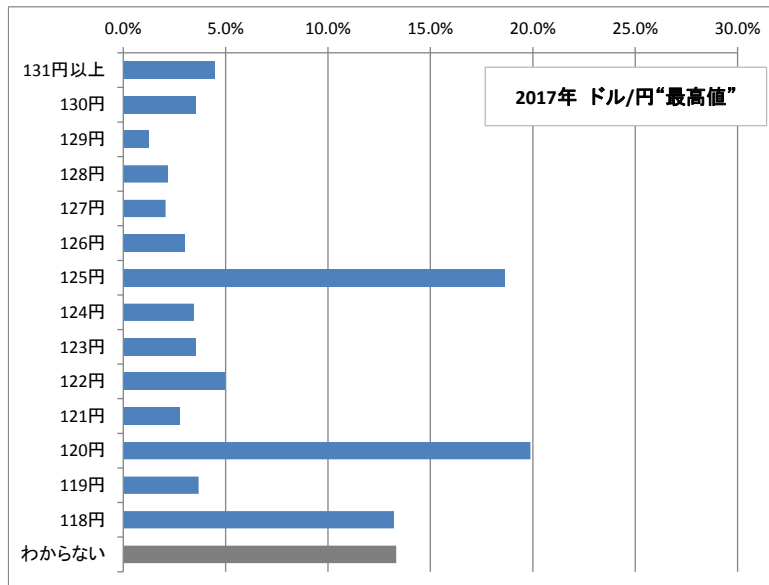


本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2017 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

**問6:2017年を通して、ドル/円“最高値”の予想レートをお答えください(ひとつだけ)また、下のコメント欄に、その理由をお書きください。**

今回の特別質問として、「2017年を通して、ドル/円“最高値”の予想レートをお答えください(ひとつだけ)」と尋ねたところ、最も多かったのは「120円」の19.9%であった。差がなく「125円(18.6%)」と続き、以下「118円(13.2%)」、「122円(4.9%)」、「131円以上(4.5%)」と続いた。一昨年6月に付けた2002年以来の高値125.853円に面合わせする事はあっても、これを上回る事はないとの予想(125円以下)が合算割合で7割を超えた。また、3番目に多かった「118円」という回答は、1月3日に付けた118.603円が今年の最高値になるとの予想を意味するのだろう。これらの予想の理由を自由記述形式で尋ねたところ、125円を超えるドル高・円安を予想した向きの間では「トランプ米大統領の政策でドルが上昇する」との声が圧倒的に多かった。一方、118円で頭打ちを予想した向きからは「トランプ政権への不安・不信(によるドル安)」が指摘された。2017年の米ドル/円相場は、良くも悪くも「トランプ米政権次第」という印象を強く受ける回答結果であった。

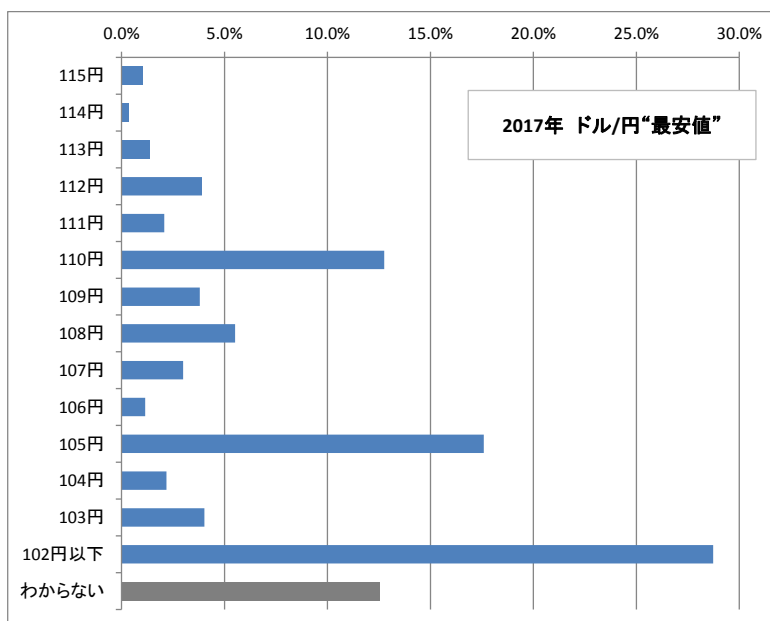


本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2017 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

**問7:2017年を通して、ドル/円“最安値”の予想レートをお答えください(ひとつだけ)また、下のコメント欄に、その理由をお書きください。**

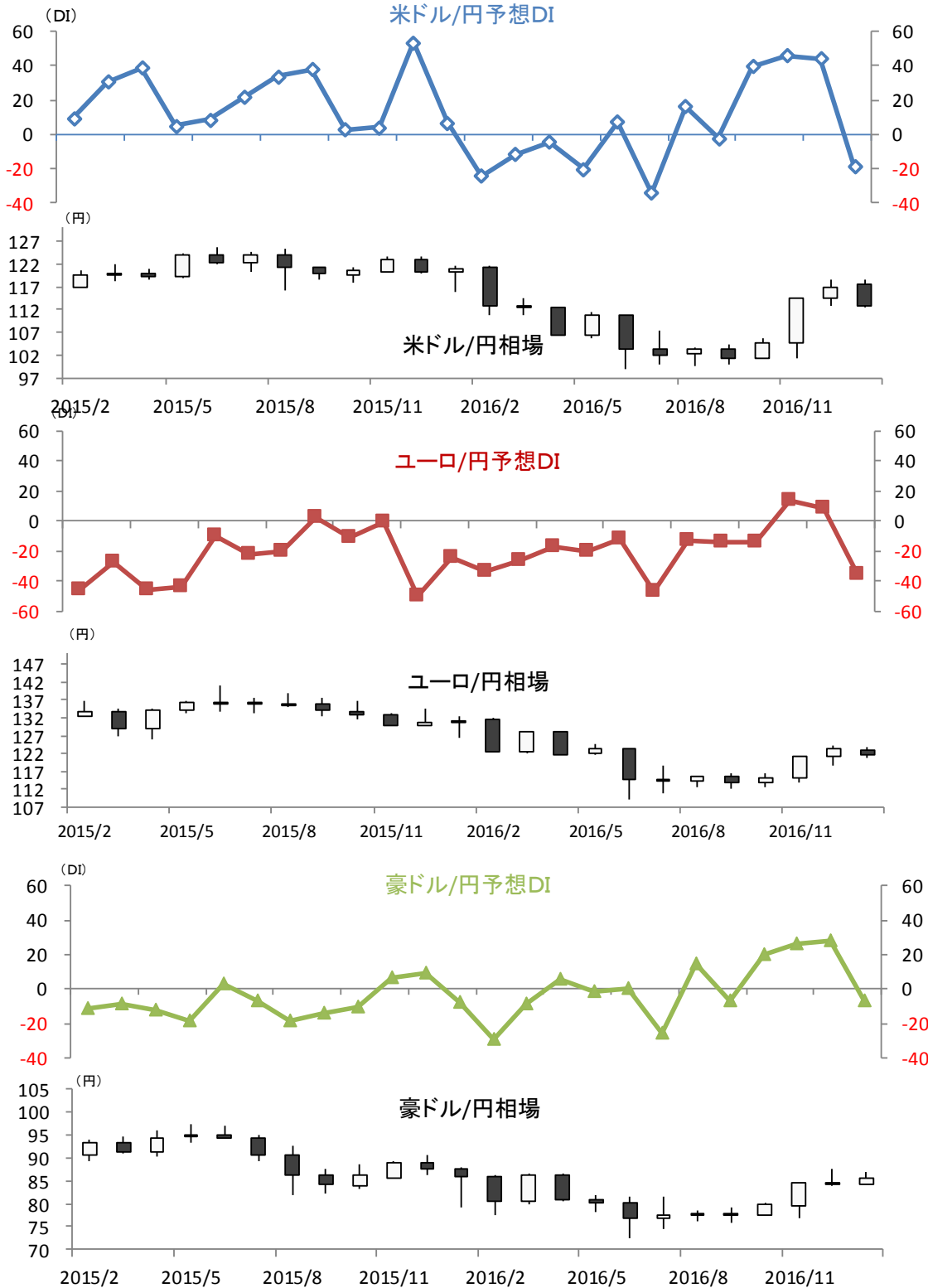
今回のもうひとつの特別質問項目として、「2017年を通して、ドル/円“最安値”の予想レートをお答えください(ひとつだけ)」と尋ねたところ、「102円以下」と答えた割合が28.7%に上った。以下、「105円(17.6%)」、「110円(12.8%)」、「108円(5.5%)」、「103円(4.0%)」と続いた。調査期間中に付けた112円台が今年の最安値になるとの予想はわずか3.9%にとどまった。こちらもその理由について自由記述形式で尋ねたところ、102円以下と答えた向きからは「トランプ米大統領は自国に有利になるようにドル安に誘導する」「トランプ・ショックが起きて100円を割り込む」などとトランプ米大統領に対する不安の声が挙がっていた。103円や105円、あるいは108円とした向きの回答も概ね同じ趣旨であった。一方、110円以上を最安値と予想した向きは「波乱要因による円高はあっても一過性」「米FRBは複数回利上げするため下値は限られる」などと回答した。問6の回答結果と考え合わせると、個人投資家の心中にはトランプ米大統領に対する期待と不安が入り混じっている様子だが、どちらかと言えば不安のほうが強いように思われる。



本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2017 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

【付表:主要3通貨ペア予想DIと足の推移】



本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。Copyright©2017 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

## 【今後の調査実施計画及び公表方針】

本調査も第92回目となりました。調査開始から7年以上が経過し、データの蓄積が進んできました。今後については、毎月定点観測で実施する調査結果を基に、予想DIの時系列比較から見出せるFX投資家の相場観の変化やその傾向などのほか、中長期的な視点に基づいたFX投資家の投資スタイルの変化などの考察も進めて行きたいと考えています。

なお、毎月の本調査においては、公表扱いとしている質問項目及び回答結果の他に、「投資家の属性」、「取引頻度」、「取引規模」、「取引時間帯」、「投資選好」など、投資家実態を把握するために必要な各種の質問項目も設けて集計しています。それらの回答結果を用いた投資家の実態報告や属性別のクロス・セクション分析等については、当研究所が1年に1回、毎年中央以降に公表する「外為白書」で紹介する予定です。

## 【付表：主要3通貨ペア予想DIの推移】

|       |       | 米ドル/円 |      |       | ユーロ/円 |      |       | 豪ドル/円 |      |       |
|-------|-------|-------|------|-------|-------|------|-------|-------|------|-------|
|       |       | 米ドル高  | 米ドル安 | DI    | ユーロ高  | ユーロ安 | DI    | 豪ドル高  | 豪ドル安 | DI    |
| 2015年 | 2月    | 46.8  | 16.1 | 30.7  | 19.7  | 47.5 | -27.8 | 26.4  | 34.8 | -8.4  |
|       | 3月    | 52.3  | 13.6 | 38.7  | 15.2  | 60.5 | -45.3 | 21.8  | 33.9 | -12.1 |
|       | 4月    | 31.4  | 26.3 | 5.1   | 15.1  | 59.0 | -43.9 | 23.4  | 41.9 | -18.5 |
|       | 5月    | 29.1  | 20.5 | 8.6   | 31.0  | 40.4 | -9.4  | 32.2  | 29.1 | 3.1   |
|       | 6月    | 43.5  | 21.9 | 21.6  | 25.4  | 47.2 | -21.8 | 24.3  | 31.3 | -7.0  |
|       | 7月    | 49.1  | 15.5 | 33.6  | 23.6  | 43.7 | -20.1 | 22.8  | 41.7 | -18.9 |
|       | 8月    | 51.1  | 13.1 | 38.0  | 30.9  | 28.8 | 2.1   | 24.1  | 38.5 | -14.4 |
|       | 9月    | 37.1  | 34.5 | 2.6   | 24.9  | 35.8 | -10.9 | 29.9  | 40.7 | -10.8 |
|       | 10月   | 30.3  | 26.2 | 4.1   | 30.3  | 31.1 | -0.8  | 39.6  | 33.0 | 6.6   |
|       | 11月   | 67.3  | 13.6 | 53.7  | 11.1  | 61.4 | -50.3 | 34.4  | 25.6 | 8.8   |
|       | 12月   | 43.8  | 37.1 | 6.7   | 19.7  | 44.1 | -24.4 | 30.5  | 38.4 | -7.9  |
|       | 2016年 | 1月    | 27.3 | 51.5  | -24.2 | 19.2 | 52.6  | -33.4 | 22.8 | 52.5  |
| 2月    |       | 34.7  | 46.3 | -11.6 | 22.5  | 49.0 | -26.5 | 32.3  | 41.3 | -9.0  |
| 3月    |       | 33.3  | 37.6 | -4.3  | 24.8  | 42.1 | -17.3 | 37.6  | 31.8 | 5.8   |
| 4月    |       | 30.2  | 50.2 | -20.0 | 24.2  | 43.9 | -19.7 | 34.2  | 35.7 | -1.5  |
| 5月    |       | 40.8  | 33.4 | 7.4   | 22.6  | 38.2 | -11.6 | 35.7  | 35.3 | 0.4   |
| 6月    |       | 26.3  | 60.2 | -33.9 | 20.0  | 67.0 | -47.0 | 24.8  | 50.5 | -25.7 |
| 7月    |       | 48.3  | 32.1 | 16.2  | 32.1  | 44.7 | -12.6 | 44.2  | 29.8 | 14.4  |
| 8月    |       | 26.5  | 48.9 | -22.4 | 17.2  | 48.1 | -30.9 | 25.9  | 40.2 | -14.3 |
| 9月    |       | 34.5  | 36.8 | -2.3  | 23.8  | 38.0 | -14.2 | 28.4  | 35.4 | -7.0  |
| 10月   |       | 57.3  | 17.6 | 39.7  | 24.2  | 37.7 | -13.5 | 43.3  | 23.0 | 20.3  |
| 11月   |       | 65.9  | 19.9 | 46.0  | 38.7  | 24.8 | 13.9  | 47.0  | 21.2 | 25.8  |
| 12月   |       | 64.4  | 20.2 | 44.2  | 36.6  | 28.3 | 8.3   | 50.0  | 21.6 | 28.4  |
| 2017年 | 1月    | 35.2  | 54.0 | -18.8 | 18.3  | 54.1 | -35.8 | 28.9  | 35.5 | -6.6  |

(出所)外為どっとコム総合研究所

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2017 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com